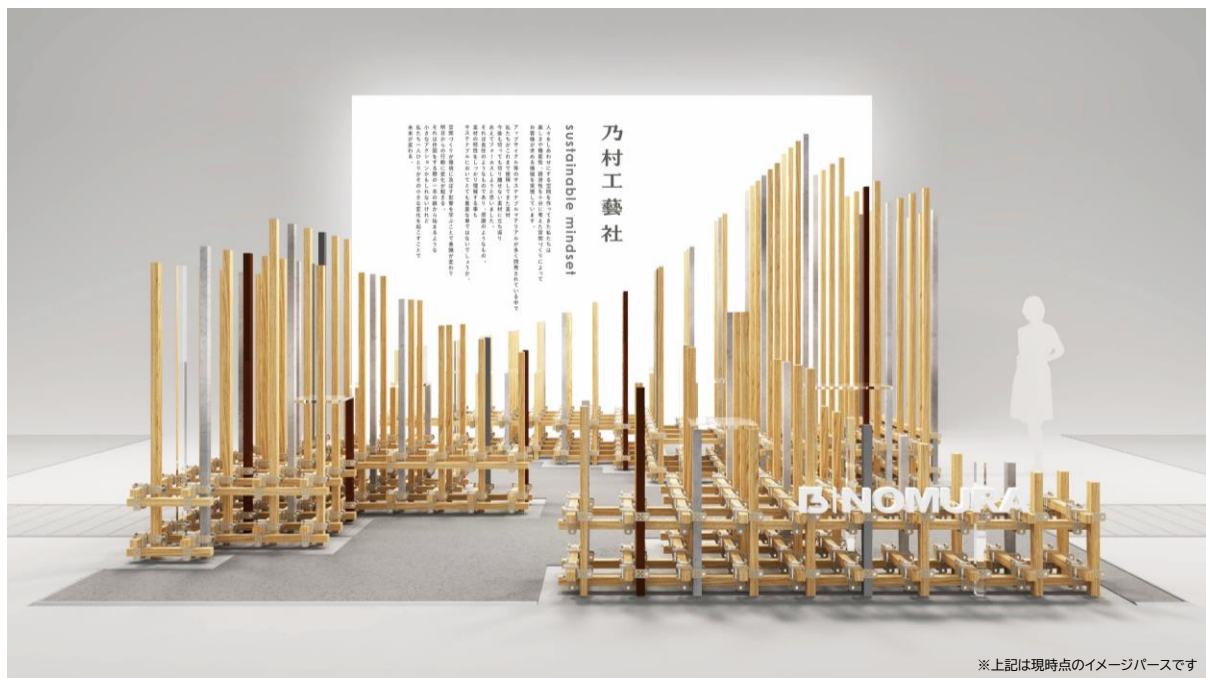


SCビジネスフェア2024 乃村工藝社ブース出展のお知らせ

乃村工藝社が考えるサステナブルデザイン | 2024年1月24日（水）～26日（金）



ショッピングセンター関係者が一同に集まる業界最大のイベント「SCビジネスフェア2024」に、今年も乃村工藝社が出展いたします。今回のブーステーマは「乃村工藝社が考えるサステナブルデザイン」です。当社ではソーシャルグッドR&D活動の一環で環境性・意匠性・機能性を実現する「サステナブルデザイン・マナーブック」の作成を進めています。ブースはマナーブックの基本方針に沿って空間構成し、これからの時代のデザインスタンダードを作るアイデアを共有します。脱炭素社会に向けた新たな空間づくりを、みなさまとともに考えていく気づきやきっかけとなる空間を目指しています。

また、イベント初日の1月24日（水）には無料セミナーを開催します。本ブースの企画・デザインにも携わるクリエイターたちが「サステナブルデザイン・マナーブック」の検討過程で得られた気づきから、人々をしあわせにするサステナブルデザインの空間づくりを探ります。

開催概要

- 【名称】 第48回日本ショッピングセンター全国大会 SC BUSINESS FAIR 2024
【開催期間】 2024年1月24日（水）～26日（金）10:00～18:00（最終日は17:00まで）
【開催場所】 パシフィコ横浜 展示ホール（C・D）／アネックスホール 当社小間番号：D2-13
【入場料金】 展示ホールC・D：無料 / アネックスホール：有料
【主催】 一般社団法人日本ショッピングセンター協会
【後援】 経済産業省、国土交通省、農林水産省、横浜市、日本経済新聞社、織研新聞社、産業タイムズ社
【URL】 <https://www.scbizfair.com/>



※ご来場は、上記URLにて事前登録が必要となります。セミナーは事前登録後マイページの「無料セミナー」より参加お申込みください。

本ブースのデザインアプローチ

サステナビリティへの取り組みが多様化する中、乃村工藝社もアップサイクル素材の開発などさまざまなチャレンジを続けてきました。今回は空間を構成するうえで欠かすことのできないベーシックマテリアルに焦点をあて、素材の特性を理解することからサステナブルデザインを考えます。木、セメント、アクリル、銅、鉄という異素材のベーシックマテリアルを使用して格子材に組み、空間のアンジュレーション（起伏）を持たせることでブース内を回遊していただきながら、会話を楽しんでいただけるブース構成としました。ブースデザインは国内外アワード受賞プロジェクトを手掛けている4名の乃村工藝社デザイナーが担当。「原点に立ち返りマテリアルを理解すること。それは小さなアクションかもしれないが、一人一人が小さくても変化を起こすことで、未来を変えるのではないか？」。クリエイティビティによるマテリアルの新たな可能性とデザインの多様性を追求し、社会課題にアプローチしていきます。

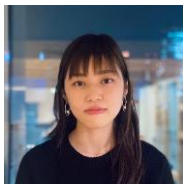
木をベースに異素材のベーシックマテリアルを合計274本使用。建物のライフサイクルにおける二酸化炭素排出量から、各マテリアルの使用本数の割合を変更して配置。



担当デザイナー



鈴木 祥平
(no.10)



阿部 祥子
(no.10)



城土 健作



横手 茂樹

セミナー

「乃村工藝社が考えるサステナブルデザイン」
～気づき、きっかけ、導き、これからも人々を幸せにする空間をつくり続けるために～

開催日時 2024年1月24日（水） 11:00～11:30 展示ホール・B会場

登壇者	乃村工藝社	ビジネスプロデュース本部	ソーシャルグッド戦略部長	後藤 慶久
		クリエイティブ本部	no.10 ルームチーフ	鈴木 祥平
		第一デザインセンター	デザイン3部 ルームチーフ	城土 健作
		クリエイティブ本部	no.10 デザイナー	阿部 祥子

参加方法 入場無料、事前登録制・先着順。[こちら](#)から事前登録後マイページの「無料セミナー」より参加お申込みください。

乃村工藝社について <https://www.nomurakougei.co.jp/>

乃村工藝社は、商業施設、ホテル、企業PR施設、ワークプレイス、博覧会、博物館などの企画、デザイン、設計、施工から運営管理までを手掛ける空間の総合プロデュース企業です。グループ全体では、全国9拠点・海外8拠点、国内外6つのグループ会社で事業展開しています。1892年（明治25年）から培ってきた総合力を活かし、フィジカルとバーチャルを融合させた空間価値の提供で、人びとに「歓びと感動」をお届けしています。近年は、持続可能な社会を実現するため、事業活動を通して幸せなインパクトを生み出す「ソーシャルグッド活動」を推進しています。